

平成 29 年度修了生 新たな旅立ちの時

講座部本科修了式



濱面代表理事の祝辞

3月3日(土)平成29年度講座部本科の修了式が此花会館でとり行われた。修了証を授与されるのは176人。又、自然観察アドバイザー資格及び自然活動アドバイザー資格が151人にそれぞれ授与された。今年の修了生は平均年齢68歳。修了生の皆さんの高齢化は一段と進んだ。

4月に入校して以来、多くのことを学び、新しい仲間を得た喜びの年月を振り返る皆さんを前に、挨拶に立った濱面 誠代表理事は、「健康寿命が延びていて、シニアの就労も増えている。支えられる生き方でなく、シニアも自活が求められていて、社会との接点をしっかりと持っていくことが大切。」とシニア自然大学校の特徴である社会貢献への取り組みを強調しエールを贈った。

来賓の川道先生が、ご都合で欠席。祝辞が終わると直ちに、修了



修了証書の授与 風組代表者

一人の名前が読み上げられ、それぞれの組の代表者が濱面代表理事から修了証を受領した。

今年のアシスタントへの謝辞は、各組すべて男性が代表した。そのこともあってか、皆さん大変まじめで真摯なものであった。中でも、花組の謝辞ではその締めくくりに、花組全員が立ち上がり感謝の言葉を唱和するといった、珍しい形をとった(おそらく初めて)。花組アシスタントの皆さんたちは感慨深いものがあったであろう。そのせいか、懇親会最後の花束贈呈ではちょっとしたハ

プニングの場面も。

式は極めて順調に進み、恒例の全員写真は十分に時間をかけて撮影。会場準備の休憩をはさんで、お待ちかねの懇親会。

それぞれに工夫を凝らしたアトラクションは、緑組から始まった。出し物は、「河内音頭」。赤い布を頭や首に巻き、舞台上しばらく披露。その後、会場に練り出した。さすがに大阪、次々と飛び込み参加。踊りの輪が広がり、たいそうな盛り上がりであった。

風組のジェンカのダンスでは会場でも全員が飛び跳ねお疲れの様子。最後の星組を残してしばらく休憩タイム。

マイクが入らず途中まで聞こえなかった輪唱。音楽が流れずアカペラになってしまった「故郷」の合唱。トラブルもあったが、即座に応援の手拍子や大合唱が会場から巻き起こり、組を超えた仲間の優しさが伝わってくる心暖かい懇親会であった。

修了生の皆さん本当におめでとうございます。これからのご活躍の様子をどうぞ機関紙「自然と仲間」にご投稿下さい。お待ちいたしています。(広報 芳澤)



緑組のアトラクション
河内音頭



会場で披露された花組各班の班旗



西九条公園での記念撮影 星組



贈られた花束の披露